

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品...定額法による減価償却を実施している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、郵便振替及び未払金、預かり金を含めることにしている。
なお、前期及び当期末残高は3に記載のとおりである。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	29,859,972	16,000		29,875,972
貸付信託	11,700,000		7,500,000	4,200,000
定期預金	28,456,028	9,500,000		37,956,028
合計(基本金)	70,016,000	9,516,000	7,500,000	72,032,000

3 次期繰り越し収支差額の内容は、次のとおりである。

科目	前期末繰越残高	当期末残高
現金	11,486	31,638
普通預金	8,839,350	17,958,257
郵便振替	2,672,404	22,192,835
合計	11,523,240	40,182,730
未払金	2,688,000	27,735,360
預り金	20,100	14,500
合計	2,708,100	27,749,860
次期繰り越し収支差額	8,815,140	12,432,870

4 固定資産の取得価額、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計	当期末残高
什器備品	251,790	241,718	10,072
合計	251,790	241,718	10,072